

## 予算要望を提出

日本共産党上越地区委員会と上越市議会議員団は18日、村山市長宛に「2021年度の予算編成に関する要望書」を提出しました。

新型コロナウイルス感染症対策が急務となっている現状を踏まえ、感染症対策予算を中心に、緊急課題に絞り込んだ内容です。

主な項目は次の通りです。

- ◇ PCR検査の大規模化の準備
- ◇ 福祉施設等職員のPCR検査費用助成
- ◇ 住宅リフォーム促進事業等の継続
- ◇ 原子力災害避難計画の根本的見直し
- ◇ 原発立地自治体並みの「安全協定」締結
- ◇ 介護保険料引き下げ
- ◇ 国保税の子ども均等割廃止
- ◇ 子ども医療費助成拡充
- ◇ 小中学校、幼稚園保育園の給食費無料化
- ◇ 保育料完全無料化
- ◇ 地域医療守り、医師・看護師確保
- ◇ 小中学校の1学級定員を30人以下に
- ◇ 意欲のある農業者の生産条件保障
- ◇ 鳥獣被害対策の強化
- ◇ 総合事務所の時間外受付廃止の検証
- ◇ 「公の施設の適正配置」計画案見直し
- ◇ 最終処分場設置計画は市民合意を前提に
- ◇ 要援護世帯除雪費助成制度拡充 など

### 上越保健所管内感染症患者発生状況

(1月22日現在)

PCR検査実施件数 4395件(前週+904)  
感染症患者数 40人(上越市内36人)  
陽性率 0.91%

### 日本共産党上越市議員団ニュース

No.692 2021年1月31日

連 橋爪 法一 090-5392-1961(吉川区代石)  
絡 上野 公悦 090-7260-9407(頸城区中柳町)  
先 平良木 哲也 090-1808-6919(上中田(金谷区))

# 各地に大きな“白い爪痕”

## 日本共産党議員団が各地を視察・調査

1月8日から激しく降り続いた今回の豪雪は、市内各地に大きな爪痕を残しました。

日本共産党議員団は、19日から25日にかけて市内各地の被害状況を視察し、事態を調査しました。

豪雪の被害は、住宅や農業施設、公共施設、特殊構築物など、あらゆる方面に広がっています。また、今回は、どか雪だったことから、市内のあらゆるところで被害が発生しています。

そして、その被害の全貌は雪解けを待

たないとつかめないという困難さがあります。

この間、天候は比較的落ち着いていますが、冬はまだ続きます。次の寒波の襲来を見据えて、万全の備えが必要です。



屋根雪と地面の雪がつながってしまう4メートル超の積雪。重機なしには除雪不能。(中ノ俣)



どか雪前には周囲を完全に除雪しておいたのに、記録的な降雪でハウスが倒壊。(大潟区)



大規模太陽光発電施設も倒壊。(谷浜公園)



農機具格納庫が倒壊。入れてあった新品の田植機、コンバイン、トラックが破損。(浦川原区)



屋根が大きく破損した一般住宅。支援の手が緊急に必要です。(安塚区)



必死の除雪で市道を確認。積雪の高さは驚くばかり。(谷浜桑取区)